

委託事業実施内容報告書
平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 飯田市

1. 事業名称

飯田市 地域との協働による日本語教育推進事業

2. 事業の目的

平成25年度に地域との協働で開催した子育て講座「子育てとにほんご」・日本語教室「わいわいサロンⅡ」の活動を、さらに関係機関等との連携を拡充して展開する。教室に参加する学習者が、実践的な日本語を学ぶとともに、日本文化や地域の人々に触れることにより、地域社会へ踏み出していける架け橋のような役割を担うことを目指す。地域住民主体の“学習と交流の場”としての公民館を拠点にすることで、日本人と外国人が共に主体となる地域日本語教育推進のための体制整備を図る。

3. 事業内容の概要

◆子育て講座「子育てとにほんご」の実施

25年度に引き続き、子育てをしている外国人を対象に、子育てに関する必要な知識や日本語を学ぶ講座を実施する。企画・運営には、昨年度の受講者を中心に子育て中の当事者に企画委員として関わっていただき、内容や教材等を検討する。また、地域の子育て関係団体や市の事業等とも連携を図り、地域で開かれている学級や講座へ外国人が参加していけるよう体制整備を行う。

◆日本語教室「わいわいサロンⅡ」の実施

25年度に引き続き、日本語教室「わいわいサロンⅡ」を鼎にて前期・後期の二期、これまで定期的には日本語教室がなかった外国人集住地区2箇所の公民館で開催し、その地域に住む外国人成人を主な学習者対象とする。内容は生活に必要とされる実践的な日本語とともに、地域の文化やそこで暮らしていくために必要な情報などについても学べるものとする。扱うテーマや教材は、25年度も参加していただいた日本語支援者を中心として検討する。

◆飯田市の地域日本語教育における体制整備

「子育てとにほんご」「わいわいサロンⅡ」を開催するにあたり、教室のスタッフだけでなく、様々な方面の関係団体等と協働で企画・運営をする。教室のスタッフと関連部局・関係者で構成される企画会議を教室開講前に行ない、地域との協働による地域日本語教育の体制整備を図る。また、複数の外国人集住地区の公民館で日本語教室を開催することにより、その地区の多文化共生における課題やニーズを汲み取り、地域住民との共有を図ることで、外国人の地域活動参画の促進につなげる。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年5月18日(日) 10:00～12:00	2時間	飯田市公民館	春原直美・櫻野武司・ 秦文映・氏原理恵子・ 大澤志那子・熊谷文世	・今年度文化庁委託事業について ・飯田市として応募、採択された経過 ・事業の概要 ・市内日本語教室の近況	・「子育てと日本語」、「わいわいサロンⅡ」の取り組みについて
2	平成26年9月27日(土) 13:00～15:00	2時間	飯田市公民館	春原直美・櫻野武司・ 秦文映・氏原理恵子・ 大澤志那子・湯澤ちふ美	・事業進捗状況 ・長野県の文化庁事業について ・市内日本語教室の近況	・「子育てと日本語」、「わいわいサロンⅡ」学習内容について ・集住地区教室(常盤台)進め方について
3	平成26年12月6日(土) 13:00～15:00	2時間	飯田市公民館	春原直美・櫻野武司・ 秦文映・氏原理恵子・ 大澤志那子・湯澤ちふ美	・事業進捗状況 ・長野県の取り組み「バイリンガル指導者による講座」について ・市内日本語教室の近況	・集住地区教室(山本)立ち上げについて
4	平成26年2月8日(日) 15:30～17:30	2時間	山本二ツ山団地内集会所	春原直美・櫻野武司・ 秦文映・氏原理恵子・ 大澤志那子・吉澤裕美子・湯澤ちふ美	・平成26年度事業の総括 ・来年度の事業について ・日本語教育に関する意見・情報交換	・来年度の事業について

5. 取組についての報告

○取組1:子育てと日本語

(1) 体制整備に向けた取組の目標

・様々な関係機関の方々に関わっていただくことで、外国人も同じ地域住民として子育てしているという認識をもっていただき、外国人でも子育てしやすい環境づくりを目指す。

・講座で日本語や情報を補っていくことで、受講者が子どもを通じて地域社会へ踏み出していく機会や勇気を持てるようにする。

(2) 取組内容

・当地域で子育てをしている外国出身者を対象とした子育て講座を開講する。

(3) 対象者

・子育て中の外国人及び日本人

(4) 参加者の総数 22 人

出身・国籍別内訳

中国	8人	インドネシア	人	・台湾2名・ドイツ1名・アメリカ1名
韓国	1人	タイ	人	
ブラジル	1人	ペルー	人	
ベトナム	2人	フィリピン	1人	
ネパール	人	日本	5人	

(5) 開催時間数(回数) 14 時間 (全 7 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年6月14日 10:00～12:00	2時間	県公民館	8人	中国(4人)、台湾(1人)、韓国(1人)、日本(2人)	【言葉】親子でやってみよう！手遊びやわらべ歌	前半は、親のみで企画委員が講師となりグーチョキパーやむすんでひらいといった手遊びを覚えた。後半は、子どもと合流して覚えた手遊びや体遊びを実践した。	企画委員	NPO法人ラブリーズスタッフ(菊原訓子・山本もとみ・竹内千代子)
2	平成26年6月21日 10:00～12:00	2時間	県公民館	6人	中国(1人)、台湾(1人)、韓国(1人)、ベトナム(1人)、フィリピン(1人)、日本(1人)	【言葉】保育園の先生と話していますか？	保育園の用語や園生活、園の遊び方などを保育士さんにお話し頂いた。挨拶から一歩進んだ子どもの様子を聞く言い方等も学び、会話練習を行った。	松村由美子	NPO法人ラブリーズスタッフ(山本貴子・夏目美奈・竹内千代子)
3	平成26年7月5日 10:00～12:00	2時間	県公民館	5人	中国(2人)、韓国(1人)、フィリピン(1人)、日本(1人)	【言葉】言葉の発達にタイセツなこと	言語聴覚士を講師に迎えた。子どもの言葉の発達にとっては、規則正しい生活や十分な運動、情緒の発達などの感覚を育むことが大切であるというお話をお聞きした。	知久万寿美	NPO法人ラブリーズスタッフ(平沢忍・山本貴子・山本もとみ)
4	平成26年8月23日 10:00～13:00	2時間	県公民館	10人	中国(3人)、台湾(1人)、韓国(1人)、フィリピン(1人)、日本(4人)	【食】お弁当を作ったべよう	秋の運動会に向けてお寿司など悪くなりくいメニューを取り入れたキャラ弁に挑戦。卵焼きを初めて作る学習者も多く、お弁当の細かい部分が分かったと好評だった。	山田安世	宮下米子・堀川美也子・大嶋多恵子・市村祐子・後藤典子
5	平成26年9月6日 10:00～13:00	2時間	さんとびあ	13人	中国(2人)、台湾(2人)、ベトナム(1人)、フィリピン(1人)、ドイツ(1人)、アメリカ(1人)、日本(5人)	【食】おやつを作ったべよう	子どもがあまり食べない時、おやつだけお腹にたまるものが知りたいという企画委員の要望に講師が答えて下さり、野菜や豆腐を使ったメニューを作った。新しい参加者も多かったが、簡単に作れるメニューだったので、学習者同士がしっかりコミュニケーションをとれた様子だった。	松原千尋	宮下米子・堀川美也子・大嶋多恵子・穴水博美・牧原博子
6	平成26年11月8日 10:00～12:00	2時間	伊賀良公民館	6人	中国(2人)、ベトナム(2人)、フィリピン(1人)、ドイツ(1人)	【体】リトミックを楽しもう	リトミックを体験した。言葉の入った曲の時に、日本語が分からない親子は動けなくなる場面もあったが、全体的には楽しく音楽に合わせて体を動かすことができた。講師が自身が地域で行っている講座についてお話しされたところ、興味を持った学習者もいた。	長沼香	

7	平成26年11月22日 10:00～12:00	2時間	伊賀良公民館	6人	中国(2人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)、日本(2人)	【体】病院の先生と話そう	小児科の先生を迎え、座談会形式でざくばらんに子どもの体・病気について話した。学習者も普段聞けない個別の悩みが聞けて良かった様子。	萩元緑朗	堀川美也子・大嶋多恵子・市村祐子・穴水博美
---	----------------------------	-----	--------	----	---------------------------------	--------------	--	------	-----------------------

(7) 参加者の募集方法

幼稚園・保育園、小中学校へのチラシ配布、外国籍の子どもがいる家庭にダイレクトメール、飯田市内20地区公民館へチラシ配布、市役所外国人窓口にてチラシ設置、外国人キーパーソンに呼びかけ依頼。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

【第2回 6月21日(土)10:00～12:00 県公民館 学習テーマ:保育園の先生と話してますか?】

参加者:6名 講師:保育士 松村由美子さん

〈あいさつ〉参加者が集合したところで、講師も含めひとりずつ自己紹介。出身国、子どもの年齢、保育園などに通っているかなどについて、講師が把握した。

〈講師の話〉保育園、幼稚園の目的や違い、園生活の流れなどについて、保育園で使われる用語にも着目しながらお話いただいた。少人数だったため、受講者からの質問もその都度受け付けながら進めた。園生活での特別な日本語(登園、連絡帳、お昼寝など)についても触れた。

〈会話練習〉ファシリテーターが、保育士と子どもの送迎時に話すときの便利なフレーズ等を導入し、講師に練習相手となってもらって、ひとりずつ練習した。お迎えのとき、親が「今日はどうでしたか」と保育士に聞く、朝送って行ったとき体の調子で少し心配なことについてお願いする言い方などを、受講者が個々に起こりそうな状況を考えて練習していた。(例「熱はないんですが、鼻水が少し出ます。」「わかりました。様子をみてみますね。もし悪くなるようならお母さんのほうへ連絡します。」)

〈質問、ふりかえり〉受講者から保育園生活に関する質問を受け付けた。実際に保育園であった問題で、保育士に聞いていいことなのか、どう聞けばいいのかわからず悩んだということや、これから保育園へ通うことになるにあたっての不安など、受講者から活発に質問が出た。講師は丁寧に答えてくれた。



【第4回 9月6日(土)10:00～13:00 さんとおぼあ 学習テーマ:おやつを作って食べよう】

参加者:13名 講師:もぐもぐ隊(助産師) 松原千尋さん メニュー:ヨーグルトゼリー・色々お豆腐団子
〈事前準備〉日本語を集中して学べるよう、前日のうちに講師と事務局で計量、分配などは済ませた。

〈導入〉参加者が集合したところで、開講の挨拶、メニューの説明、自己紹介を行ない、4グループに分かれた。

〈デモンストレーション〉日本語のメニューを見ながら、講師がゆっくりとした日本語を使って、作り方を見せた。講師は助産師でもある為、子どもの健康や成長に関する情報も取り入れたお話しをしてくれた。

〈グループで実習〉様々な国の学習者がいる構成となるようグループ分けし、日本語で会話をしながら調理した。簡単に作れるメニューであった為、初めての参加者も多かったが、しっかりと会話が出来た様子。子どもの健康に配慮し、豆腐や野菜を使ったメニューにしたことも好評だった。

〈試食・片付け〉託児に預けていた子どもや夫も加わり、皆で試食。子育て講座ということもあり、普段は母親中心の参加者だが、子どもや夫も加わったことで、参加者同士の会話も弾み、父親の子育てに関わる様子も見られた。その後全員で片付けを行なった。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

今年度は、昨年学習者の関心が高かった内容をもとに、保育士、小児科医、乳幼児学級の講師など、さまざまな関係機関の方々に教室に関わっていただいた。

実施後、学習者に聞き取り調査をしたところ、体験したことのない内容の講座に参加出来たことや、普段なかなか話すことのできない専門家と関わることができたことへの、満足の声が聞かれた。また、今回講座に関わってくださった様々な関係機関の方々からは、子育て中の外国人の悩みなどを聞き、こちらも勉強になったので、今後も何かできることがあれば協力していきたいとおっしゃっていただけたことも成果の一つであると感じる。

(10) 改善点について

参加者を集めることが難しかった。内容的にも必須ではなかったのかもしれない。参加者も講座実施後、興味は持ったものの、外国人学習者の地域の子育て講座などへの参加は実際にみられず、本講座への参加のみという単発的な学習に留まっており、受講者が子どもを通じて地域社会へ踏み出していく機会や勇気を持てるようになったとは言い切れない。今後は、保育園・幼稚園やつどいの広場と一緒に(共催)行うなどして、学習者をもっと地域へ入っていきやすい方法が必要と感じる。今回講座に関わってくださった様々な機関との連携を今後さらに強め、より地域参画に効果的な講座に発展させたい。

子育てと日本語企画委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年4月22日(火) 13:00～15:00	2時間	飯田市公民館	山田通子、秋姫政、市瀬久美、ガルシアエルリー、ウマンリン、大澤志那子、熊谷文世	・講座テーマについて ・講座日程について	・講座主体で学ぶゲームについて、委員自身が興味のある分野などを出し合い、3つの分野にしぼる。 ・講師の選定 ・委員が都合のいい日程の調整
2	平成26年5月8日(木) 13:00～15:00	2時間	飯田市公民館	山田通子、秋姫政、市瀬久美、ガルシアエルリー、ウマンリン、大澤志那子、熊谷文世	・講座テーマについて ・講座日程について	・「ことば」の講座の内容について ・講師の選定
3	平成26年5月29日(木) 13:00～15:00	2時間	飯田市公民館	木村深幸、山田通子、秋姫政、市瀬久美、大澤志那子、熊谷文世	・講座の内容について	・「ことば」の各回の内容について
4	平成26年6月9日(月) 13:00～15:00	2時間	飯田市公民館	木村深幸、山田通子、秋姫政、市瀬久美、大澤志那子、熊谷文世	・講座の進め方について	・第1回で扱う内容(歌や手遊びなど)の選定、検討 ・第1回の進め方について
5	平成26年7月16日(水) 13:00～15:00	2時間	飯田市公民館	山田通子、秋姫政、市瀬久美、ガルシアエルリー、ウマンリン、大澤志那子、熊谷文世	・講座の内容について	・「食」の講座の内容について ・お弁当づくり、おやつ作りの講師の選定
6	平成26年9月18日(木) 13:00～15:00	2時間	飯田市公民館	山田通子、秋姫政、ガルシアエルリー、ケンタツグエイト、大澤志那子、湯澤ちふ美	・講座の内容について	・子どもの体や健康、成長などについて知りたいこと ・講師の選定

飯田市公民館

平成 25 年度文化庁委託事業 地域日本語教育実践プログラム (B)

子育て中の外国人
のための講座
※日本人もOK

にほんご

① 6/14 (土)
親子でやってみよう！
手あそびやわらべうた♪

② 6/21 (土)
保育園の先生と話しますか？

③ 7/5 (土)
言葉の発達にタイセツなこと

※時間 10:00~12:00 (3回すべて)
※会場 飯田公民館
(詳細地図をみてください)
※定員あります！ (¥100/ひとり 要予約)

申し込みは、TEL、FAX、Eメールで飯田市民館まで。
または、裏面の申込書も、市役所外国人登録窓口、りんご亭、西、
公民館へ出してください。

飯田市民館 熊谷
TEL 0265-22-1132 / FAX 0265-22-1022
Email iccd01@city.kita-nagano.jp



【こそだてとにほんご 申し込み書】

飯田市民館 熊谷行

名前 In *

住所 出身 (国籍など) *

性別 (人) 不要 子どもの名前 子どもの年齢 *

【飯田公民館地図】



飯田公民館
住所：飯田市中平1339-5
電話：0265-22-1284

飯田市民館

平成 25 年度文化庁委託事業 地域日本語教育実践プログラム (B)

子育て中の外国人
のための講座
※日本人もOK

Course for foreigners bringing up children
CURSO PARA AS MAES EM PERIODO DE
AMAMENTAÇÃO

① 8/23 (土) 10:00~13:00
場所：飯田公民館4階 ¥300
「お弁当をつくって食べよう！」
食卓を来地！ Let's Make Eat Obento!
Preparar e degustar Obento!
もつもの：ベントボックス、エプロン、バンダナ
What to bring: BENTO box, Apron, bandanna
所帯物品：飯盒、圍裙、包头手巾
A que levar: BENTO BOX, Avental, Lenço para para o cabelo

② 9/6 (土) 10:00~13:00
場所：さんどびら ¥300
「おやつをつくって食べよう！」
制作点の来地！ Let's Make & Eat Snacks!
Preparar lanche e degustar!

※定員あります！ 要予約！ (Nursery: free of charge)
(¥100/ひとり 要予約 一人 要要予約/children: reservation is necessary (¥100/one person))

申し込みは、TEL、FAX、Eメールで飯田市民館まで、または、裏面の申込書、
市役所外国人登録窓口、りんご亭、公民館へ出してください。
申請方法、TEL、FAX、Eメールで飯田市民館、市役所、公民館、市役所外国人登録窓口、市役所、公民館、
直接交際市役所外国人登録窓口、市役所、公民館。
Apply at Iida-shi Kominkan by phone, fax or e-mail: Put in the application paper at the back and
submit it to the City Hall Foreigners' Registration Section, Ringo Chousha or Kominkan.
Inscrição por TEL, FAX, e-mail para Iida-shi Kominkan ou entregue a folha de inscrição do verso para Prefeitura
no balcão de consultas aos estrangeiros, ou no Ringo chosha ou no Kominkan
飯田市民館 TEL 0265-22-1132 / FAX 0265-22-1022 Email iccd01@city.kita-nagano.jp

【こそだてとにほんご 申込書 日本語教室申請書 Application Form Folha de Inscrição】

名前 姓名 Name In *

住所 地址 Address End *

性別 出身 (国籍など) 出生地 (国籍等) Nationality País *

★参加する日にきてください/請在參加的日子上畫時 /Tick the days you would like to participate / Mercar os dias que vai comparecer.
□8/23 □9/6

【飯田公民館地図】



飯田公民館
住所：飯田市中平1339-5
電話：0265-22-1284

飯田市民館

平成26年度文化庁委託事業 地域日本語教育実践プログラム (B)

★子育て中の外国人のための講座 外国人でもOK
★为育儿中的外国人举办的课程
★Curso for foreigners bringing up children
★CURSO PARA AS MÃES EM PERÍODO DE AMAMENTAÇÃO

にほんご

11/8 (土) 10:00~12:00
場所: 伊賀良公民館1階 無料
【リズムを楽しもう】
---音楽に合わせて体を動かそう!---
[Let's enjoy "Rhythmic of music"]
---"Try to move your body to the rhythm of the music"--
[Vamos apreciar o Hythmique]
---Movimentar o corpo no ritmo da música---

2/11/22 (土) 10:00~12:00
場所: 伊賀良公民館2階 無料
【子どもの病気】
---病院の先生と話そう!---
[Children's Hospital]
---Try to speak with the hospital doctors!--
[Doença de crianças]
---Vamos conversar com o médico!--

是非ぜひ外国人も参加してください。ALFESCHYTEM OIKOS

○申し込みは、☎、FAX、Eメールで飯田市民館まで。または、裏面の申込書を、市役所、外国人登録窓口、りんご会、公民館へ出してください。
○申請方法、TEL、FAX、Eメールで通知飯田市民館、或者、请填写好反面的申请表、直接交到市役所外国人登録窗口、苹果厅、公民馆。
○Apply at Iida-shi Kominkan by phone, fax or e-mail: fill-in the application paper at the back and submit it to the City Hall Foreigners' Registration Section, Ringo Chousha or Kominkan.
○Inscrição por ☎, FAX, e-mail para Iida-shi Kominkan ou entregue a folha de inscrição do verso para Prefeitura no balcão de consultas aos estrangeiros, ou no Ringo chosha ou no Kominkan

問い合わせ: Iida-shi KOMINKAN (Yuzawa)
TEL 0265-22-1132 FAX 0265-22-1022 E-mail: kcc01@city.yuzawa.jp

【申込書】【日语教室申请书】【Application Form】【Folha de Inscrição】

氏名 名前 Name Nome _____

住所 地址 Address End _____

出身地 出生地 Nationality País _____

★参加する日にしてください/请在参加的地上画印/Tick the days you would like to participate / Marcar os dias que vai assistir a aula.

☐ 11/8 ☐ 11/22

【伊賀良公民館】[Igara KOMINKAN]



伊賀良公民館
(住所) 飯田市大湯本 570-1
電話 0265-25-7311

○取組2:わいわいサロンⅡ

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・外国人であれ日本人であれ、同じ地域で暮らす住民であるということをお互いに認識してもらい、更にその地域を住みやすくしていくためにどうするかを考える機会とし、地域課題を少しずつ解決していくことを目指す。
- ・この教室で学んだ受講者が、地域社会で自立した生活を送れるような一助となる。

(2) 取組内容

- ・外国人の成人を対象とした、生活のために必要な実践的な日本語や日本文化について学ぶ教室を開設する。
- ・24・25年度連続で開設した県にて前期・後期の二期と、これまで定期的な日本語教室は行われてこなかった2箇所の外国人集住地区の集会所で開催することとする。開催日時は週末の昼間など、受講者がより集まりやすい時を検討する。
- ・教室の内容については、日本語支援者で構成される企画会議を開き、企画・検討し、必要があれば教材等も作成する。
- ・学習テーマによっては、関係機関の方に教室に参加していただいたり、現場へ受講者が出向いたりして、より実践的な日本語を学べる教室とする。また、外国人集住地区での地域課題(自治会、防災、環境等)についても積極的に学習テーマとして取り入れる。

(3) 対象者

成人で日本語を学びたい方

(4) 参加者の総数 95 人

出身・国籍別内訳

中国	38人	インドネシア	人	・カナダ1人・アメリカ1人・台湾2人
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	12人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	5人	
ネパール	人	日本	36人	

(5) 開催時間数(回数) 50 時間 (全 25 回)

(6) 取組の具体的内容

【県前期】 6月30日～8月25日 14時間 (全7回)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年6月30日 19:00～21:00	2時間	県公民館	10人	台湾(1人)、中国(2人)、カナダ(1人)、ブラジル(3人)、フィリピン(3人)	自己紹介、自分の国の文化を紹介してみよう	少し改まった場面での自己紹介の仕方、お互いに出身地等の質問の仕方について学んだ。また、それぞれの食文化についても話し、最後に話をした人のことをクラス全体へ発表した。	井ロー紀、馬本綾子、下岡恭子、ジャロ京子、向山敦子、山崎りえ子、山崎ルミ、大澤志那子	堀川美也子、大嶋多恵子
2	平成26年7月7日 19:00～21:00	2時間	県公民館	9人	中国(2人)、カナダ(1人)、ブラジル(3人)、フィリピン(2人)、アメリカ(1人)	かしこく買い物してありますか？	ポイントカード、クーポンなどの意味や使い方について情報交換をした。地域の店舗の情報などについても話した。また、カードを申し込むときの言い方などについても触れた。	下岡恭子、向山敦子、山崎りえ子、山崎ルミ、大澤志那子	堀川美也子、大嶋多恵子
3	平成26年7月14日 19:00～21:00	2時間	県公民館	9人	台湾(1人)、中国(1人)、カナダ(1人)、ブラジル(3人)、フィリピン(2人)、アメリカ(1人)	職場や学校で上手に話そう	職場や子どもの学校へ、欠席や遅刻の連絡をするときの言い方について学習した。直接伝える場合と電話で伝える場合、職場も学校も関係ない学習者は日本語教室を休む場合などと、学習者個々の状況に合わせて練習した。	馬本綾子、下岡恭子、ジャロ京子、向山敦子、山崎りえ子、山崎ルミ、大澤志那子	堀川美也子、大嶋多恵子
4	平成26年7月21日 19:00～21:00	2時間	県公民館	10人	中国(3人)、カナダ(1人)、ブラジル(3人)、フィリピン(3人)	病院の間診票を理解する	各言語対訳のものと日本語の間診票を使用し、大体の日本語の質問の意味を理解し、自分の答えが言えるようになることを目標として取り組んだ。学習者個々の状況に合わせて、できる人は日本語だけの間診票へ記入することにも挑戦した。	井ロー紀、馬本綾子、下岡恭子、ジャロ京子、向山敦子、山崎りえ子、山崎ルミ、大澤志那子	大嶋多恵子、穴水博美
5	平成26年7月28日 19:00～21:00	2時間	県公民館	11人	台湾(1人)、中国(3人)、カナダ(1人)、ブラジル(3人)、フィリピン(3人)	病院の先生と話そう	病院の医師をゲストに迎えた。診察時の症状の伝え方をや質問の仕方を練習したあと、ゲストの医師に実際に学習者ひとりずつと会話の相手をしていただいた。詳しくは言えなくても、具合の悪い箇所を伝えることが大事というようなアドバイスもいただいた。	市立病院白旗医師、井ロー紀、馬本綾子、下岡恭子、ジャロ京子、山崎りえ子、山崎ルミ、服部珠予、八木孝子、大澤志那子	堀川美也子、大嶋多恵子
番外	平成26年8月3日 10:00～13:00	2時間	さんとびあ	9人	台湾(2人)、カナダ(1人)、ブラジル(2人)、フィリピン(4人)	郷土料理を作って食べよう	飯田の伝統料理「五平餅」とトン汁を学習者とその子ども、日本人支援者で作った。外国籍の子ども達も五平餅は大好きな料理、でも初めて作って嬉しそうだった。普段とは違う雰囲気です学習者同士も会話が弾んでいた。	堀川美也子、大嶋多恵子、井ロー紀、下岡恭子、ジャロ京子、向山敦子、八木孝子、大澤志那子	

6	平成26年8月18日 19:00～21:00	2時間	県公民館	11人	台湾(1人)、中国(3人)、カナダ(1人)、ブラジル(3人)、フィリピン(3人)	保険や年金の仕組みを知らう	民間で保険業を営むファイナンシャルプランナーをゲストに迎えた。基本的な年金と保険の仕組みについて話を聞いた。学習者には、自分の保険証を持参して貰い、各々加入している保険の確認をした。今までの講座で一番良かった、もっと聞きたいという学習者の声があった。	千賀秀樹、井口一紀、下岡恭子、向山敦子、山崎ルミ、服部珠予、八木孝子、大澤志那子	堀川美也子、穴水博美
7	平成26年8月25日 19:00～21:00	2時間	県公民館	8人	台湾(1人)、中国(1人)、カナダ(1人)、ブラジル(3人)、フィリピン(2人)	飯田の水害の歴史と備え	飯田市危機管理室より講師を迎え、飯田の水害の歴史や災害時に発令される警報の言葉を学んだ。その後、グループワークで支援者と一緒にハザードマップの見方や避難所の場所などを確認した。	後藤武志、下岡恭子、ジャロ京子、向山敦子、山崎ルミ、大澤志那子	堀川美也子、大嶋多恵子

【**鼎後期**】 10月20日～12月15日 14時間（全7回）

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年10月20日 19:00～21:00	2時間	県公民館	11人	中国(3人)、ブラジル(5人)、フィリピン(2人)、カナダ(1人)	飯田弁で話してみよう！	飯田の方言のなかで特徴的なものについてを学んだ。聞いてわかるようになることと、よく使われるものは少し使えるようになるよう口頭練習した。日本滞在が短期間の学習者もいて、理解と定着には個人差が見られた。	井口一紀、馬本綾子、下岡恭子、ジャロ京子、山崎りえ子、山崎ルミ、木下弘子、服部珠予、大澤志那子	堀川美也子、大嶋多恵子
2	平成26年10月27日 19:00～21:00	2時間	県公民館	11人	中国(3人)、ブラジル(5人)、フィリピン(2人)、カナダ(1人)	ゴミの分別、正しくできますか？	飯田市環境課とゴミ分別啓発ボランティアの皆さんに来ていただき、分別やリサイクルステーションの利用の仕方、ゴミカレンダーの見方などをワークショップ形式で学んだ。日本人でもわからないことはたくさんあり、支援者からも勉強になったという声が多かった。	福田絵都、馬本綾子、下岡恭子、ジャロ京子、向山敦子、山崎りえ子、木下弘子、服部珠予、大澤志那子	堀川美也子、大嶋多恵子
3	平成26年11月3日 19:00～21:00	2時間	県公民館	10人	中国(3人)、ブラジル(5人)、フィリピン(2人)	自己紹介きちんとう！	名前、出身、居住地等を丁寧に伝える表現と、初対面の人にそれらを質問する言い方を学んだ。ペアになった人の他己紹介をクラス全体の前でひとりずつ発表した。	馬本綾子、下岡恭子、向山敦子、山崎ルミ、木下弘子、大澤志那子	堀川美也子、大嶋多恵子
4	平成26年11月17日 19:00～21:00	2時間	県公民館	15人	中国(3人)、ブラジル(8人)、フィリピン(3人)、カナダ(1人)	救急法を学びましょう	消防署の方をゲストに、救急法(心臓マッサージとAEDの使用法)を教えてください。最低限必要な日本語についても注目し、実践練習した。	井口一紀、馬本綾子、下岡恭子、ジャロ京子、向山敦子、山崎りえ子、山崎ルミ、木下弘子、服部珠予、大澤志那子	堀川美也子、大嶋多恵子
5	平成26年12月1日 19:00～21:00	2時間	県公民館	10人	中国(3人)、ブラジル(5人)、フィリピン(2人)	薬局で話してみよう	薬局で症状を伝え、薬を買う時の表現を学んだ。薬の箱などを参加者に持参してもらい、ロールプレイも行った。学習者のブラジルの方は、薬はブラジルから持ってきているそうで、日本で買うことが出来ればより便利ではないか。	井口一紀、下岡恭子、ジャロ京子、向山敦子、山崎ルミ、大澤志那子	堀川美也子、大嶋多恵子
6	平成26年12月8日 19:00～21:00	2時間	県公民館	15人	中国(3人)、ブラジル(8人)、フィリピン(3人)、カナダ(1人)	水引細工に挑戦	地元の企業へお願いし、水引の歴史や用途などについて作品等を見せてもらいながらお話をいただいたあと、淡路結びと梅を実際に参加者が作る体験をした。飯田の文化に触れながら、色とりどりの水引を選んでいくところから、楽しく貴重な体験となった。	飯田水引協同組合職員、井口一紀、馬本綾子、下岡恭子、ジャロ京子、向山敦子、山崎ルミ、木下弘子、服部珠予、大澤志那子	堀川美也子、大嶋多恵子
7	平成26年12月15日 19:00～21:00	2時間	県公民館	10人	中国(3人)、ブラジル(5人)、フィリピン(2人)	年賀状を書いてみよう	参加者同士で年賀状を出し合うこととし、ひとり2枚程度年賀状を作成した。宛名書きはやはり難しかったが、縦、横、文字などは個々の能力に合わせ選んでもらった。表面もそれぞれ工夫し、個性豊かな作品がたくさん仕上がった。事務局の方で実際に投函していただいた。	馬本綾子、下岡恭子、向山敦子、山崎りえ子、山崎ルミ、木下弘子、大澤志那子	堀川美也子、大嶋多恵子

【**松尾常盤台**】 8月23日～10月4日 12時間（全6回）

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年8月23日 19:00～21:00	2時間	松尾常盤台集会場	11人	中国(11人)	自己紹介、自分の国の文化を紹介してみよう	名前、出身などの基本的なことを言う自己紹介の仕方、所属等や名前と一緒に言う便利な言い方などについて学習し、練習した。また相手の国や家族について尋ねる言い方も学習した。ペアを替えながら大勢の人と自己紹介をしあう活動等も取り入れ、初対面の支援者と学習者とが交流した。	後藤信義、篠田初美、下岡恭子、服部珠予、八木孝子、秦文映、秦治樹、大澤志那子	
2	平成26年8月30日 19:00～21:00	2時間	松尾常盤台集会場	9人	中国(9人)	かしこく買い物していますか？	値段の言い方、数(ひとつ、ふたつなど)の言い方などと、買い物の際の簡単な会話(「～を2つください」など)を練習した後、買い物体験のワークショップを行った。「いらっしゃいませ」やコンビニ等でよくかけられる「温めますか」などについても、聞いてわかる言葉として提示した。	後藤信義、篠田初美、下岡恭子、服部珠予、八木孝子、秦文映、秦治樹、大澤志那子	
3	平成26年9月6日 19:00～21:00	2時間	松尾常盤台集会場	9人	中国(9人)	職場などで丁寧な日本語を使ってみよう	仕事や日本語教室を休むときの表現について学んだ。カレンダーの語彙(明日、来週など)について確認した後、ロールプレイなども入れながら、仕事等を休む、遅刻するときの言い方を練習した。	後藤信義、篠田初美、下岡恭子、服部珠予、八木孝子、秦文映、秦治樹、大澤志那子	
4	平成26年9月20日 19:00～21:00	2時間	松尾常盤台集会場	17人	中国(17人)	病院での会話	病気の症状を伝える言い方を学んだ。ロールプレイを入れたことで緊張感を持って出来た様子。言語レベルに差はあるが、出来る方はプラスアルファのことや丁寧な表現を聞いてくれるなどした。	後藤信義、篠田初美、下岡恭子、服部珠予、八木孝子、秦文映、秦治樹、大澤志那子	

5	平成26年9月27日 19:00～21:00	2時間	松尾常盤台集会場	12人	中国(12人)	保険や年金の仕組みを知ろう	外国人にかかわる保険、年金等の分野に詳しい方をゲストに迎えてお話をきいた。学習者は全員中国出身者だったため、通訳もいれながら行った。そろそろ年金を受給する年齢の方も多く、個々の問題として引き寄せ、質問も多く出された。	西橋博、後藤信義、下岡恭子、ジャロ京子、服部珠予、八木孝子、秦文映、秦治樹、大澤志那子	
6	平成26年10月4日 19:00～21:00	2時間	松尾常盤台集会場	9人	中国(9人)	災害が起きたらどうしますか	常盤台区長のお話しの後、災害マップを見ながら安全な場所を確認した。その後、ファシリテーター指示のもと災害に関する言葉をワークショップ形式で学んだ。	常盤台区長、後藤信義、篠田初美、下岡恭子、服部珠予、八木孝子、秦文映、秦治樹、大澤志那子	

【山本ニツ山】 2月8日～3月8日 10時間（全5回）

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年2月8日 13:00～15:00	2時間	山本ニツ山団地集会所	7人	中国(7人)	きちんと自己紹介できるようにしよう	名前や出身地を伝える表現を学習し、ひとりずつ発表した。お互いに情報をききあう活動も取り入れて、できるだけ多くの参加者と会話をした。	下岡恭子、服部珠予、八木孝子、木下弘子・向山敦子・大澤志那子	
2	平成26年2月15日 13:00～15:00	2時間	山本ニツ山団地集会所	5人	中国(5人)	家族について話そう	家族の言い方について学び、お互いの家族のことについて、絵を見せ合って話した。	後藤信義、篠田初美・下岡恭子、八木孝子、・大澤志那子	
3	平成26年2月22日 13:00～15:00	2時間	山本ニツ山団地集会所	5人	中国(5人)	好きなこと、趣味などについて話そう①	好きな食べ物や趣味などについて話した。日本語支援者の好みなどについても話し交流を深めた。	後藤信義、下岡恭子、服部珠予、大澤志那子	
4	平成26年3月1日 13:00～15:00	2時間	山本ニツ山団地集会所	5人	中国(5人)	好きなこと、趣味などについて話そう②	好みや趣味について、少し詳しく話した。料理のつくり方や「どんな」を使った質問ができるよう学習した。	篠田初美、八木孝子、木下弘子、大澤志那子	
5	平成26年3月8日 13:00～15:00	2時間	山本ニツ山団地集会所	5人	中国(5人)	美容院での会話	美容院で髪型の要望を伝える言い方を学んだ。美容師と客の役を決めてロールプレイなどとした。	後藤信義、服部珠予、八木孝子、向山敦子、大澤志那子	

(7) 参加者の募集方法

飯田市内20地区公民館へのチラシ配布、地区回覧版、受講記録のある外国人家庭にダイレクトメール、市役所外国人窓口にてチラシ設置、外国人キーパーソンに呼びかけ依頼。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

【鼎前期 7月28日(月)19:00～21:00 鼎公民館 学習テーマ:病院の先生と話してみよう】

参加者:11名 講師:白旗医師 ファシリテーター:大澤志那子

〈支援者打ち合わせ〉開始15分前に、日本語支援者とファシリテーターで授業の流れについて確認。

〈あいさつ〉教室開始のあいさつと講師の紹介

〈導入〉病院に行ったことがあるか、その理由やだれといったかなどについてグループで話す。

〈体の部位名確認〉グループごと、学習者のレベルに合わせて、資料をみながら体の各部の名称を言えるか、聞いてわかるかなどを確認した。ゲストの先生はその様子を見学。

〈症状を言う練習〉ファシリテーターがクラス全体に提示した表現を使いながら、各グループで主に風邪の症状を伝える言い方を練習。日本語支援者が医師役。ゲストの先生は引き続きクラスの様子を見学。

〈医師と会話練習〉学習者ひとりずつゲストの白旗医師と診察時に症状を伝える会話を練習。各自自分に合ったものを考えて練習。実際にある症状を伝えている人もいた。全員が終わったところで先生にコメントをいただいた。

〈質問の仕方について練習〉再びグループごとに分かれて会話練習。診察が終わるとき、何か医師や看護師に質問したいことがあったらどう言うかをグループ内で練習した。白旗医師は再び見学。

〈医師と会話練習〉学習者ひとりずつゲストの白旗医師と、診察後の質問をしてみる会話の練習。各自自分に合ったものを考えて練習。全員が終わったところで先生にコメントをいただいた。

〈白旗先生のお話と質問〉白旗医師から、症状を伝えるときに最低限、「どこがいつから」を身振りでもいいので伝えられることが大事だということをお話いただき、学習者からの質問も時間が許す限り受け付けて答えていただいた。

〈まとめ〉白旗医師にお礼を述べ、次回の予告等をして終了。



【鼎後期 10月20日(月)19:00～21:00 鼎公民館 学習テーマ:飯田弁で話してみよう】

参加者:11名 ファシリテーター:大澤 志那子さん

〈打ち合わせ〉開始15分前に、日本人支援者とファシリテーターで学習の進め方について打ち合わせした。

〈開講式〉後期1回目の講座だったため、学習者と日本人支援者の自己紹介と、教室についてのオリエンテーションを行った。

〈導入〉関西の言葉、ニュースの言葉、飯田の言葉、違いがあるか考え、飯田弁だと思ふ言葉をグループごと話し合い全体で共有。

〈あいさつの飯田弁紹介〉よく使われる飯田弁を紹介。

〈飯田弁口頭練習①〉理由を言う「から」が飯田弁では「もんで」になることを紹介し、グループごと絵カードを使って「～もんで」の練習。絵カードのものが好きな(きれいな)理由を「～もんで」を使って言ってみた。

〈飯田弁の口頭練習②〉「～ている」が飯田の方言だと「～とる」になることを紹介し、グループごと絵シートを見ながら「～とる」と使う練習。

〈飯田弁の寸劇〉支援者が行う飯田弁の会話を聞いて、なんと言っているか聞き取ってみる。その後飯田弁

〈まとめ〉学習者カードへ感想を記入し、次回の予告等をして終了。



【常盤台 10月4日(土)19:00～21:00 松尾常盤台集会所 学習テーマ:災害が起きたらどうしますか】

参加者:9名 講師:松尾常盤台区長 ファシリテーター:大澤 志那子

〈事前準備〉会場設営のあと、日本語支援者で進め方についての簡単な打ち合わせ

〈開会、あいさつ〉参加者がおおよそ集まったところで開会し、ゲストの区長さんを紹介。

〈区長さんのお話〉この日のテーマについて喚起をしたあと、区長さんから当地区の防災についてのお話を聞いた。学習者はすべて中国出身だったため、中国語での随時通訳を運営委員でこの地区で帰国者のための日本語教室を開いている秦さんをお願いした。

〈ハザードマップ確認〉座っていたテーブルごとに用意した学習者居住地区のハザードマップを広げ、日本語支援者が協力しながら、危険箇所や避難場所の確認をした。

〈災害の用語〉ファシリテーターが「地震」「土砂崩れ」「避難」などの災害の用語をいくつか提示し、それぞれの動きを決めた。会場内を音楽に合わせ歩き、音楽が止まったときにファシリテーターが発する用語の動きをするゲームをして用語の定着をはかった。

〈閉講の会〉最終回であったため、学習の振り返りをしたあと簡単な閉講式。学習者を含む関係者のあいさつ、皆勤賞の発表などをし終了。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

【鼎前期・後期】

- ・鼎地区は飯田市の中心に位置する好立地。ここで間口を広く、日本語を学びたい成人を市内全域から募集し、時間も仕事後に参加出来るよう、平日の夜行った。学習者は前期後期で継続した方もいたが、ほとんど入れ替わった。少し話せる学習者が多かった為、交流しながらの学習が出来た。
- ・生活のために必要な実践的な日本語や日本文化について学ぶ内容として行なった「飯田弁で話してみよう」、「飯田の伝統工芸水引」の回では、支援者と共に実際に体験することでこの地域に暮らす上で不可欠な日本語と知識の他、知っておくとここで生きることが楽しくなるような情報を提供することができた。
- ・市立病院医師、ファイナンシャルプランナー、水引協同組合など、新たな分野の地域のリソースを活用した授業展開ができた。各分野との連携体制を構築できたと同時に、講師として教室に参加してくださった方々が、生活者としての外国人を意識するきっかけにもなったことは成果といえるだろう。

【松尾常盤台】

- ・外国人が多く居住する団地を抱える地区での教室開催となった。主にこの地区に住む学習者が集まった。既存の日本語教室(中国帰国者が指導する中国帰国者のための教室)では得られない日本人支援者との交流ができた。いろいろな日本人と学べることがいいという学習者アンケートの意見もあった。
- ・保険・年金に関すること、地域の防災に関することなど、生活に密着した情報を提供することができ、学習者の反応もよかった。

・松尾常盤台地区同様、外国人が多く居住する団地での教室開催となった。該当地区を抱える地区公民館の全面的な協力を得て開催できたことは、地域課題を解決する糸口をみつけるためにも良かったのではないかと。従来の日本語支援者の他に、該当地区在住の日本人支援者参加も数名あった。

- ・開催地3カ所それぞれ学習者の層や日本語レベルがあり、それを把握するまでに時間を要したため、最初から学習者に合致した内容でできなかった部分があった。事前にある程度把握する方法を検討する必要がある。
- ・日本語支援者がスキルアップできる機会を設けることができなかった。通常の教室活動やその振り返りから実践的に学ぶ部分も多いが、それ以外に専門家を招いた研修会等を開催し、総合的にレベルアップしていけることが望ましい。またファシリテートできる人材を育成することも重要だろう。
- ・どの地区も学習者確保に課題があった。広報の仕方を見直すことも必要である。

問い合わせ：飯田市公民館 TEL0265-22-1132 (くまがい)

問い合わせ： Iida-shi Kouminkan Te0265-22-1132 (Yuzawa)

【重刊序】 卷四

【日本語教育 募 集 形 式】 (Folha de inscrição) (日本語教育報名表) [Application form]

名前 Name _____

性別 Sex _____

出身 国/都府県 Nation/Region _____

住所 Address _____

出身 国/都府県 Nation/Region _____

日本語教育 Aula de japonês 日语教室 Japanese class

	日 Date/Time Date/Time	内容 Contents 教 材 及 勉 励 の 事 と Os temas das aulas e os temas de estímulo
1	10 月 20 日 (月) 10.00~21.00	Conversar em linguagem típica de Eida/Eida/ten! (讲一讲奈良田方言吧！) Try to talk in Nara's dialect accent.
2	10 月 27 日 (月) 10.00~21.00	歌の作りや歌し方を学ぶ。歌詞の分類。歌詞の分類。歌詞の分類。 Try to classify the garbage correctly.
3	11 月 3 日 (月) 10.00~21.00	自己紹介をちゃんとできるようにする。自己紹介の重要性。自己紹介の重要性。 Try to be able to introduce yourself.
4	11 月 17 日 (月) 10.00~21.00	単語を学ぶ。単語を学ぶ。単語を学ぶ。 Try to learn first aid.
5	12 月 1 日 (月) 10.00~21.00	病院・薬局で話してみよう。病院・薬局で話してみよう。病院・薬局で話してみよう。 Try to speak with the staffs in the hospital or pharmacy.
6	12 月 8 日 (月) 10.00~21.00	大工職人に挨拶。大工職人に挨拶。大工職人に挨拶。 Take up a challenge making the mizuhiki crafts!
7	12 月 15 日 (月) 10.00~21.00	年賀状を書き。年賀状を書き。年賀状を書き。 Try to write a New Year card.
★	12 月 22 日 (月) 10.00~21.00	新年会。新年会。新年会。 Festa de comemoração de final do ano. 新年会 Year-end party.

にほんごをまなぶひとへ
【日本語教室申し込み書】【日本語教室案内表】 [application form]

名前 Name _____ In _____

住所 Address _____ 市町村町字地番 Nationality _____

日本語教室 日语教室 Japanese class
～楽しくていいことと暮らす～ 在地域で楽しく暮らす Living Cheerfully in a Community～

	日時/Time	毎回で勉強すること 各教室学習の内容 Lesson in Every Session
1	2月6日(日) 13:00～15:00	自己紹介きちんとできるようになろう！ 把自我介绍说得非常好吧！ Try to be able to introduce yourself.
2	2月13日(日) 13:00～15:00	仕事や学校での会話 工作以及学校的会话 Conversation at work or school.
3	2月20日(日) 13:00～15:00	飯田弁で話してみよう！ 讲一讲饭田的方式吧！ Try to talk in Iida's dialectal accent.
4	2月27日(日) 13:00～15:00	近所の人と話してみよう 试着和邻居聊天把自我介绍说得非常好吧！ Try to socialize with the neighborhood.
5	3月6日(日) 13:00～15:00	地域のいいところ知っていますか？ 知道地区的优点吗？ Do you know a good place in the community?

参加開始後にお茶を飲みます。
每次结束后喝茶。
Drink tea every time after the end of the lesson.
☆大人対象の初級会場の教室ですが、初級の人やお子さんも参加出来ます。
面向大人的初中级会场教室，初级的人和孩子们都能参加。
Although it is a classroom for pre-intermediate conversation for adults, beginners and children can also join.

～この地域における日本人の暮らし～
在这里一起生活的人们的生活方式怎么样。(语言水平等)各异，但都很棒。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

平成25年度に地域との協働で開催した子育て講座「子育てとにほんご」・日本語教室「わいわいサロンⅡ」の活動を、さらに関係機関等との連携を拡充して展開する。教室に参加する学習者が、実践的な日本語を学ぶとともに、日本文化や地域の人々に触れることにより、地域社会へ踏み出していける架け橋のような役割を担うことを目指す。地域住民主体の“学習と交流の場”としての公民館を拠点にすることで、日本人と外国人が共に主体となる地域日本語教育推進のための体制整備を図る。

(2) 事業目的の達成状況

地域のリソースとの連携がより広がった。市役所や消防署などの公的機関に加えて、民間の協同組合、病院の医師などを迎えての教室活動ができた。学習者アンケートでも役に立つ情報を得られて良かったなどという声があったり、教室終了後に「ためになる講座だった」という生の声もあった。連携した団体も個人も、市役所や公民館を通じて打診をすることで、初めてでも信用を得て協力体制を築くことができた。協力していただいた方々からは、地域で生活している外国人が意外に多いことや抱えている問題などを知ることができたという声も多かった。

(3) 地域における事業の効果、成果

外国人の集住地区での地域課題(自治会に参加しない人が多い、生活習慣の違いによる日本人世帯とのトラブルなど)を、日本語教室の開催で少しでも解決の方向を見出せないかと、松尾常盤台と山本二ツ山で開講した。開講にあたっての準備段階で、どちらの地域も、公民館や自治会の関係者と懇談を持ち、その方たちの理解と協力を得ることができた。教室開催の周知や受講者募集なども連携して取り組めた。さらに、学習内容にもその方たちの思いを反映させることができた。教室活動にも参加していただき、日本語教室の実感を体感してもらうことができた。日本語教室は、単に言葉だけでなく、生活に関わる様々な事柄について学べる場所であり交流の場だという認識が、地域関係者・学習者・日本語支援者・外部からの講師・教室スタッフなどへも浸透したと思われる。

(4) 改善点、今後の課題について

・学習がこの教室活動だけに留まってしまっており、外国人が地域活動に参画していく、自立して生活していくといったところまでは達していない。言葉や知識だけを教室で与えて、あとは個々の力量に任せるというのではなく、教室活動から更に一步踏み出したかたちのしかけを考えて取り組んでいく必要がある。

・地域の中でこの活動に携わる人材をもっと増やすことが必要。外国人集住地域での活動であれば、その該当地域の人々の中から多く参加してもらうことが望ましい。今回多少は見られたが、まだ不十分で、さらに広めて深めることができれば、地域課題解決にもつながっていくのではないだろうか。

i 現状

飯田市には総人口104,776人に対し、2,076人(比率1.98%)の外国人住民が暮らしている(平成26年12月末現在)。日本語教育活動については、公民館、民間団体、中国帰国者支援関係の団体が主催するボランティア日本語教室が4か所あり、それぞれ20年近く活動している。また、厚生労働省の日系人就労準備研修が2009年より毎年実施されている。当市には、大学や日本語学校等の専門機関がないうえ、既存の日本語教室は、学習者が自身の都合に合わせて自由に選べるほどの会場数・開催時間の幅がない。さらに、公共交通機関に限りがあるため主な交通手段が車だが、自宅から遠隔地に日本語教室が開催されると、車を持っていない等の事情により通うことが困難な人もいる。

ii 今後の課題

指導する日本語ボランティアの高齢化と後継者不足、指導力向上の機会の少なさ、教室活動のマンネリ化等が課題として存在する。外国人住民の地域参画については、外国人居住率10%以上の公営団地を抱える地区では、言葉や文化の違いが壁となり、地域活動を共にできないといったことが課題となっている。

iii 今後の活動予定

今年度、開催地域を拡充し、外国人世帯の集住地域2箇所でも試験的に行った日本語教室の活動から見えてきた各地域の実情と課題、ニーズなどに寄り添った日本語教室を開催し、外国人の自立促進と地域課題解消への一助となる。さらに関係機関等との連携を強化して展開する。

◆日本語教室「わいわいサロンⅡ」出張講座の実施

平成24年度から取り組んできた「わいわいサロンⅡ」の学習内容で、より生活に直結し大切な課題であるもの(ゴミ分別や子育てに関することなど)について、当市で以前から活動している既存の日本語教室を会場に実施する。全4回、2~3箇所の予定。外部の講師を招いての講座等は、なかなか一つの教室だけではできるものでなく、普段の学習もマンネリ化傾向にあるため、それぞれの教室でこの出張講座を機に、今後の活動を拡充させてもらいたい。扱う内容や実施体制は、それぞれの教室の中心メンバーなどを交えた企画会議で検討する。

◆日本

語教室「わいわいサロンⅡ」の実施

平成25年度に引き続き、日本語教室「わいわいサロンⅡ」を鼎・常盤台の2箇所で前期・後期の2回ずつ開催する。本年度も場所を鼎公民館と外国人集住地区常盤台集会所とし、その地域に住む外国人成人を主な学習対象とする。内容は生活に必要な実践的な日本語とともに、地域の文化や生活情報などについても、積極的に地域の関係者や団体を教室へ迎えて学べるものとする。外国人集住地区の常盤台については、対象を絞って読み書きも学習できる内容を検討予定。扱うテーマや教材は、平成25年度も参加していただいた日本語支援者を中心として検討する。

◆シンポジウム「日

本語教室ってどんなところ？」(仮称)の実施

20年近く地域で行われてきている日本語教室の活動の様子、地域日本語教育の重要性などを広く周知しその活動が今後活発化につながるためのシンポジウムを開催する。時期は2月ごろを予定。「わいわいサロンⅡ」を含めた市内各教室の様子の発表、学習者の意見発表、各種アトラクションなどを通じて、関係者だけでなく、日本人、外国人を問わない一般の方々にも日本語教室の存在やその意義を知ってもらう機会としたい。実施にあたって

(5) その他参考資料

【わいわいサロンⅡ常盤台 アンケート結果】

平成26年8月23日～10月4日 【回答数：9】

1、あなたのことについて

◆性別

男性	女性	合計
2	7	9

◆年齢

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
3	0	1	3	0	2	0	9

◆お住まい

常盤台団地内	常盤台以外の松尾地区	松尾地区以外の飯田市	飯田市以外	合計
6	2	1	0	9

2、教室について

◆どの回に出席しましたか

8月23日	8月30日	9月6日	9月20日	9月27日	10月4日
6	6	6	7	7	9

◆学習テーマはどうでしたか

とても良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった	合計
9	0	0	0	0	9

- ・1回しか来なかったけど面白かったから来年は全部来たい。(小学生)
- ・いっぱい勉強して、後にみんなと遊んだ。(小学生)
- ・すごく面白く、楽しく出来たから来たから。(小学生)
- ・普段の知らないことを習って良かったと思う。
- ・今回のイベントはとても良かったと思います。たくさん日本語を覚えました。先生はとても情熱的で心温まる感じがします。
- ・今までわからなかったことが、勉強を通じて分かるようになりました。
- ・日本語の勉強、生活に関する知識、防災知識と日本語を使ったコミュニケーションのとり方。
- ・分かりやすい。イラストがあることで、ずっと入りやすいです。振り仮名もついているし。

◆教室のやり方はどうでしたか

とても良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった	合計
9	0	0	0	0	9

- ・子どもは子どものところがあって、友達とも仲良くなった。(小学生)
- ・すごろくとかやった。(小学生)
- ・すごろく。(小学生)
- ・接触しやすい環境を作ってくれたこと。
- ・家に近くとてもいいです。
- ・ここで、単語とわからない文法、学校で使う対話を勉強しました。ちょっと恥ずかしかった。
- ・直接日本人の先生と会話が出来ます。いろいろな先生に教えて貰うことがいいと思います。

◆教室の時間はどうでしたか

とても良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった	合計
9	0	0	0	0	9

- ・面白かったし、始める前に集会所で遊べるから。(小学生)
- ・ちょうどいい時間。見たかったテレビが…(小学生)
- ・ごはんのあとだから。
- ・一番出席しやすいこと。
- ・時間帯はちょうどいいです。
- ・また、毎週勉強したいです。
- ・土曜日の夜7時という時間はちょうどいいです。毎週来たいと思います。
- ・週末なので、翌日はお休みの日にあたり、仕事を忘れてリラックスして勉強することが出来ます。日本の生活に近づくことで、社会を知ることができました。

◆教室の場所はどようでしたか

とても良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった	未回答	合計
6	1	0	0	0	2	9

- ・ねっころがれるから。(小学生)
- ・床でよかった。(小学生)
- ・イスだと机より高くなったりするから。(小学生)
- ・イスの方がいいかなと思う。
- ・イスに座って勉強したかった。足が痛かった。
- ・教室の施設はとても良いです。満足しています。
- ・家に近くて勉強がたくさんできました。たまにわからない時、先生に直接質問することも出来ます。
- ・床に座ることでリラックスできます。
- ・集会所ですから、近いし、リラックスすることができるし、教室も清潔です。

3. これからの日本語学習

◆どんな場面用日本語や情報が必要ですか？

- ・すぐろくをもっとやりたい。(小学生)
- ・なわとび大会。ひとりでやるやつ。卓球大会(小学生)
- ・プリントやったら、すぐろくで遊びたい。(小学生)
- ・いろんなことについて学びたい。
- ・教科書の知識(主題述語動詞助詞)は、生活と仕事に繋がる。健康生活、人との付き合い方。
- ・日本語の勉強をすることは、とても必要です。仕事上もそうだし。時には自分の言いたいことも言えない。
- ・日本人の友達とコミュニケーションを取りたいけれど、日本語が下手なのでたくさんの言葉が分からない。
- ・また新聞を読む事で勉強したい。自分は常盤台ではなく、松尾地区に住んでいます。このように、日本語を勉強できる機会はまたあるでしょうか。
- ・大変お世話になりました。先生方は休み時間を使って私たちに日本語を教えてください。ありがとうございました。
- ・日常会話を勉強したい。公共施設に行く為の語学を学びたい。

◆コメント

- ・とてもよかった。
- ・主題と述語は習ったことがなかったから、いつも日本人の話を逆にしてしまう。主動と被動の区別が分からない。
- ・常盤台地区以外の人、次回ここで勉強することはできますか。私は残留孤児ではなく、国際結婚で日本に来ました。ただ、現在松尾地区に住んでいます。ここは家に近くて毎週来たいです。来て日本語を習いたい。今後時間があったら、このように勉強して、様々な日本文化も覚えたいです。
- ・勉強したいことは全部習いたい。日中友好の花は永遠に咲いています。

・受講者一覧

2014子育てと日本語 参加者		
	氏名	国籍
1	秋 姫政	韓国
2	ウ マンリン	台湾
3	〃 夫	台湾
4	グエン・クック・グエン	ベトナム
5	〃 母	ベトナム
6	ディアナ・足立	ドイツ
7	ヘルミー	アメリカ
8	ガルシア エルネ	フィリピン
9	城田 愛美	中国
10	近藤 美池	中国
11	井原 智波	中国
12	市瀬 久美	中国
13	熊谷 百合子	中国
14	伊藤 友美	中国
15	鈴木 彩香	中国
16	飯嶋 香恵	中国
17	入江 ユリ	ブラジル
18	木村 深幸	日本
19	山田 通子	日本
20	足立	日本
21	小池 なつみ	日本
22	ジャロ 京子	日本

2014 わいわいサロン(嘉前期)参加者

受講者 氏名	国籍	日本人支援者・講師 氏名	
1 大平 達也	中国	井口 一紀	
2 大平 陽子	中国	馬本 綾子	
3 井原 江恵	中国	下岡 恭子	
4 藤 文映	中国	ジャロ 京子	
5 Brian Lydon	カナダ	向山 敏子	
6 John Rayna	アメリカ	山崎 リエ子	
7 中村 オイルダ	ブラジル	山崎 ルミ	
8 中村 ジョバンナ	ブラジル	熊谷 文世	
9 杉浦 麻州男	ブラジル	白旗医師	講師
10 杉浦 セツコ	ブラジル	後藤 武志	講師
11 Cecilia	ブラジル	堀川 典也子	講師
12 # 夫	ブラジル	大崎 多恵子	講師
13 山内 ロナウド	ブラジル	千賀 秀樹	講師
14 北浦 アナ	フィリピン	大澤 志那子	日本語コーディネーター
15 ガルシヤ・エリジーゼ・リークエター	フィリピン	湯澤 ちふ美	事務局
16 クエター テレサ	フィリピン		
17 ガルシヤ バトリック	フィリピン		
18 ウ マンリン	台湾		
19 # 夫	台湾		

19

15

34

2014 わいわいサロン(嘉後期)参加者

受講者 氏名	国籍	日本人支援者・講師 氏名	備考
1 近藤 美池	中国	井口 一紀	
2 井原 江恵	中国	馬本 綾子	
3 熊谷 元代	中国	下岡 恭子	
4 Brian Lydon	カナダ	ジャロ 京子	
5 Patriok John Garcia	フィリピン	向山 敏子	
6 ガルシヤ・エリジーゼ・リークエター	フィリピン	山崎 リエ子	
7 ガルシヤ リアム	フィリピン	山崎 ルミ	
8 中村 オイルダ	ブラジル	木下 弘子	
9 中村 ジョバンナ	ブラジル	熊谷 文世	
10 杉浦 麻州男	ブラジル	福田 結都	講師
11 Ivan Lima	ブラジル	伊賀良消防署員	講師
12 Fabio Dellariva	ブラジル	飯田水引協同組合(渡辺)	講師
13 Enami Varela	ブラジル	飯田水引協同組合(関島)	講師
14 # 母	ブラジル	大澤 志那子	日本語コーディネーター
15 # 姪	ブラジル	湯澤 ちふ美	事務局
16			

15

15

30

2014 わいわいサロンⅡ(松尾常盤台)参加者

	受贈者 氏名	国籍	日本人支援者・講師 氏名	備考
1	宮島 敬恵	中国	後藤 信義	
2	松島 秀子	中国	藤田 初美	
3	松島 峰雄	中国	下岡 恭子	
4	長沼 淑子	中国	ジャロ 京子	
5	長沼 一志	中国	服部 珠予	
6	長沼 紀那	中国	八木 孝子	
7	石原 洋子	中国	大澤 志那子	
8	石原 優和	中国	熊谷 文世	
9	長沼 なみえ	中国	下岡 祥平	松尾公民館主事
10	長沼 美歩	中国	常盤台区長	講師
11	小林 陽子	中国	西堀 博	講師
12	鈴木 英子	中国	春原 直美	
13	長沼 裕子	中国	田中 里奈	
14	長沼 春夫	中国	武田 里子	
15	井原 江恵	中国	村松 陽介	山本公民館主事
16	井原 国男	中国	湯澤 ちふ美	事務局
17	横川 日登美	中国		
18	横川 優佳(小4)	中国		
19	長沼 佳美	中国		
20	鈴木 有輔	中国		
21	長尾 福美	中国		
22	長尾 敏子	中国		
23	長尾 重子	中国		
24	松島 徳雄	中国		
25	華 文映	中国		
26	華 治樹	中国		
27	大平 ホア	中国		

27

16

2014 わいわいサロン(山本)参加者

	受贈者 名前	国籍	日本人支援者・講師 氏名	備考
1	岩崎 武	中国	後藤 信義	
2	郭 文	中国	藤田 初美	
3	岩崎 加代子	中国	下岡 恭子	
4	市村 優子	中国	服部 珠予	
5	亀村 長恵	中国	八木 孝子	
6	松下 シンシン	中国	木下 弘子	
7	松下 夏晴	中国	向山 敏子	
8	大平 ホア	中国	熊谷 文世	
9			大澤 志那子	日本国コーディネーター
10			竹村さん	山本地区民生児童委員
11			成沢さん	
12			田口さん	山本地区民生委員
13			大嶋さん	日赤分団長
14			林 武史	山本公民館長
15			村松 陽介	山本公民館主事
16			湯澤 ちふ美	事務局

8

16

24

43